

KSKP

たびだち つうしん

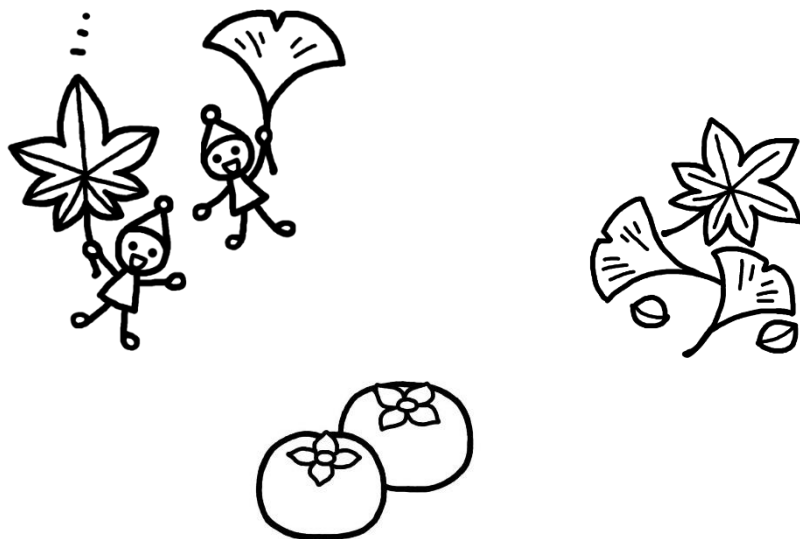
出

発

通

信

NPO法人 出発のなかまの会 179号



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物承認
毎月(1・2・3・4・5・6の日)発行

目次

7月、ふたつのデモ行進 <small>がつ こうしん きんか</small> に参加しました.....	2
夏の思い出 <small>なつ おもいで</small>	4
ちいろば・たびだち・LINKUP <small>りんこっぷ</small> ・JAJA交流 <small>じゃじゃこうりゅう</small>	5
今年は”どんどんらしい”どんどん総会 <small>ことし そうかい</small> に！.....	6
新人紹介 <small>しんじんしょうかい</small>	7
子どもたちの意欲 <small>こ いよく</small> を大切に <small>たいせつ</small>	8
長崎旅行 <small>ながさきりょこう</small>	9
スタッフ子育て日記 <small>こそだ にっき</small>	10
2023年度総会 <small>ねんどそうかい</small> をおえて/助成金報告 <small>じょせいきんほうこく</small>	11
活動のあと <small>かつどう</small>	12

7月、ふたつのデモ行進に参加しました。

最高気温が 30度を越える真夏日が続く中の 7月13日、毎年恒例、障大連主催の対府交渉に向けた総決起集会とデモ行進に参加してきました。

13時半からの総決起集会では大阪各地の障害者団体から 250名以上の障害当事者と支援者が集まり、熱気で満ちていました。その中でどんだんの集会班のメンバーさんたちは「グループホームでのヘルパー利用を継続しろ」と堂々とアピール、その後デモ行進班に「頼むわな」と熱い握手をしていました。



400名以上が参加したデモ行進は、第三梯団まで編成されていました。第一梯団で参加の夢宙センターの皆さんは、青地に「夢」と大きく書かれたTシャツで揃えています。車いすユーザーの方を中心に30名近くが参加。「LEAD ON」と書かれた大団幕を掲げ気合が入っています。第三梯団でトリを務めてくれたのは、オレンジ色の地にマスコットの青おに赤おにのシルエットを入れたTシャツのちゅうぶの皆さんです。どんだんは第二梯団で参加。毎年参加している7名のメンバーさんを中心に支援者を入れて12名です。今年は新調した紫色の地に当会のマスコットのたびたんが燃え盛る炎を背にしたイラストのTシャツを皆で着ての参加です。(Tシャツの背中の「私たちには決定する権利がある」の文字もアピールポイントです。)

出発地点の中央区民センター前は、出発を今か今かと待ち、これから街に出て自分たちの権利をアピールするぞという熱気が増していました。今回もコロナ対策で全員での大声のシュプレヒコールはできませんでしたが「障害者の声を聞け」「地域移行をすすめる」と書いた団扇を振って沿道の人々にアピールしながら歩きました。大阪府警の皆さんに横断する車や歩行者を止めてもらいながらデモ行進は進みます。止められた車の運転手のイラついた顔がチラリと見えますが、より団扇を振って笑顔でアピールします。(私たちはこのデモで理解を求めているのではなく、権利を主張しているのです。)

そこに、沿道から「何のデモですか？気になって見に来ました。」と声をかけてくれる方が。ここ最近、大阪でも「入管法改悪反対のデモ」や「性暴力に抗議するデモ」等、人権を尊重しないこの社会に抗議するデモがあり、デモへの注目度が高まっていると感じました。

この日は雨に降られる等、多少のトラブルがありましたが、どんだんのメンバーさんたちは府庁前を通り、大阪城公園西側までの1.5 kmを最後まで笑顔で歩き通しました。

この 2 週間後の 7 月 26 日に、「7.26 追悼アクション有志」主催で行われた「7.26 追悼デモ」にも参加しました。2016 年 7 月 26 日に相模原市で殺傷された 19 名の重度知的障害者への追悼の意思を示すデモです。大きなスピーカーから音楽を流しながら歩くサウンドデモという形で行われました。殺傷された方の年齢と性別、人柄等（名前を公表されている方は名前も）がそれぞれに書かれた 19 本の旗が先頭で掲げられ、参加者はおのおので「19 名の名前と尊厳を奪うな」「施設に閉じ込めるな」「優生思想をゆるさない」といったプラカードを手にして歩きました。

18 時半に難波元町中公園を出発する際には辺りはゆっくりと暗くなってきており、夕闇の中デモ隊は進みました。四ツ橋筋を北上し、賑わうアメリカ村の雑踏を抜け御堂筋に出て、マホのライトをトーチ代わりに点けて心齋橋から難波まで歩きました。

沿道の店員さんがお店から顔を出し声援を送ってくれていました。街ゆく人々の視線がデモ隊に向けられていることも分かりました。チラシの受け取りもよかったようでした。

デモ後の集会では、「このままでは自分もころされてしまう」この事件から受けた衝撃と恐怖、施設で過ごした時の苦しさを障害当事者の方々が語りました。その後、「このデモの話聞くまで事件のことを忘れていた自分にショックを受けた」「施設で勤めていた経験からこの事件があっても施設を否定できなかった自分がいた」といった、夕闇の中を歩きながら見つめ直した自らの内面の語りがありました。

この二つのデモは十分に障害者の存在と権利をアピールできていたと思います。しかし、相模原の事件以後も、精神科病院や入所施設での虐待のニュースを目にします。10 名以上の定員の大型のグループホームの設立が続いていることや、生活し始めたグループホームを追い出されそうになっているという人の話も聞きます。そして、私たちの地域生活支援の現場は常に支援者不足です。

私は今こそ路上で、自分たちの声を無視する社会に対して怒りや悲しみ、絶望を表現したいです。この社会に納得していない自分たちの存在を可視化する必要があると思います。「デモをしても意味ないよ。」そんな声を耳にします。では選挙に行こうと声を上げると、「選挙に行っても意味ないよ」と言われてしまいます。実際、この国の約半数の人たちが選挙権を放棄している現実があります。政治家や役人に任せておけばいい、マスコミに任せておけばいい、そんな考えが今の社会を作ったと言えると思います。もっと、もっと、路上に出て表現し、なかまを増やして、世論を動かし社会を変えていきたいと思った 2023 年 7 月でした。

（平山周平）

夏の思い出



夏のプレーパークで子どもたちに大人気のスイカ割り。「スイカ割り、始めます！」というスタッフの掛け声を皮切りに、スイカの前に子どもたちが列を作り、スイカを間に挟んだ反対側にたくさんの親御さんたちが一斉にスマートフォンを構えます。目隠しをして竹の棒をもち、ぐるっと小さな子はそのまま、大きな子は数回その場で回ってからスタートします。周りの子どもたちの「もっと右や!」、「まっすぐ!」と誘導する声を頼りに足を運んで、せーのっ!で棒を一気に振り下ろします。振り下ろした棒がスイカに当たった子はその手ごたえに喜び、外れた子は目隠しを外してスイカの位置を再確認していました。思いっきり振り下ろすので、芝生の上とはいえ、スイカを外した子の手は結構痛そうです。

思い起こせば私自身は、夏休みは祖父母のいる徳島県の山間にある田舎で過ごしていました。毎年、祖父が畑にスイカとトウモロコシをたくさん作ってくれていて、よくおやつに食べていました。海水浴にはスイカを持って行って、スイカ割りをしたことを覚えています。

それにしても暑かった。巨大ブルーシートで作ったプールの上には農業用の日よけシートを張っていましたが、昼間は曇り空になって日差しが少しやわらいで本当に助かりました。子どもたちは、プールで水遊びを満喫したあとは、タコの代わりに魚ソーセージが入った「タコ焼き」を食べる、食べる。想定よりも早い時間に予定数がなくなってしまいました。来場者は200人を超え、おそらく過去最多だったと思います。4回目の開催となったプレーパークですが、今回はいくのパークで開催できたので、学校の広い空間を活かしたうえに、ゆっくり過ごせる涼しい大きな部屋もあり、子どもたちそれぞれのペースで楽しめているようでした。大きなスイカを提供して下さった企業をはじめ、地域のNPOなど、様々な組織、ボランティアに支えられたプレーパークでした。子どもたちの夏の思い出になっていたら嬉しいです。



翌朝、片付けのために数名のスタッフが集まりました。あるスタッフが車の中に車のキーと携帯電話を置いたままドアをロックしてしまい、「ぎゃー! どうしよー!」、「えー! ホンマにー?」、「こんなときはどうすんの?」、「ほれほれ、JAFに電話してー!」と騒がしく楽しい、そんな風景も私の夏の思い出となりました。

いしいかおり
(石井香里)

ちいろば・たびだち・LINK UP JAJA交流会

奈良県三郷町にある、ちいろば会さんと交流会を実施しました。去年、当会のヘルパーとして働いていた永村夏美さんとの繋がりで、ちいろば会さんと交流会をしようと話が持ちあがっていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により2回ほど延期に…。新型コロナウイルスも5類になり、そろそろ出来るかと考え、当会と社会福祉法人ちいろば会、永村さんが設立したNPO法人LINK UP JAJA、3団体による交流会が実現しました！交流会に向けてメンバーと一緒に準備を進めました。田中さんはサイコロを作ってくれました。サイコロの面には、みんなで考えた質問が貼り付けてあります。

永村さんは2020年にNPO法人LINK UP JAJAを設立。ジャマイカで共生社会を実現する為、啓もう活動や障がい児・者への必要な支援をおこなっています。2023年1月にジャマイカに渡航されたため、交流会にはジャマイカからオンラインでの参加となりました。実は、ジャマイカと日本の時差をすっかり忘れていて、オンラインミーティングの日にちが1日ずれていることに当日気づいて大慌てしました。グループホームからzoomで参加したメンバーもいました。ちいろば会さんはちいろば会で作っているお菓子やジャムを持ってきてくださいました。

交流会の後「次は是非ちいろば会へ遊びに来てください！」と言っただけでした。ちいろば会さんでは、7月下旬頃～8月のお盆前までブルーベリー狩りをしているそうです。更に、ちいろば会さんには「ドンキー」というカフェがあり、メニューにブルーベリージュースがあるそうです。近々、希望者を募ってブルーベリー狩りに行く予定です。(注)

こだまわかな
(児玉和奏)



(注) 7月下旬に、みんなで楽しくブルーベリー狩りに行ってきました。

今年^{ことし}は“どんどんらしい”どんどん総会^{そうかい}に！

早速^{さっそく}ですが、タイトルにある“どんどんらしい”とは？まず、自立生活センター・どんどんは、知的障害^{ちてきしょうがい}のある当事者^{とうじしや}がさまざまな活動^{かつどう}を主体的^{しゆたいてき}におこなうことを目的^{もくてき}としています。にも関わらず、昨年度^{かか}のどんどん総会^{そうかい}は、支援者^{しえんしや}が用意^{ようい}した原稿^{げんこう}を当事者^{とうじしや}（以下メンバー）がひたすら読む、ということで終わってしまいました。それは、メンバーが主体的^{しゆたいてき}に総会^{そうかい}に参加^{さんか}した、とはとても言えない状態^いでした。「どうすればメンバーが主体的^{しゆたいてき}に総会^{そうかい}に参加^{さんか}できるのか？そして、なによりメンバーさんが楽しめるにはどうすればよいのか？」毎週^{まいしゅう}おこなうどんどん会議^{かいぎ}で、繰り返しメンバーと支援者^{しえんしや}で話し合^あいました。

総会準備^{そうかいじゆんび}は会場^{かいじょう}選びから始^{はじ}まります。例年^{れいねん}、どんどん総会^{そうかい}は当法人^{とうほうじん}のNPO総会^{えぬぴーおーそうかい}の後^{あと}におこなうため、どんどん総会^{そうかい}の会場^{かいじょう}選びをすることはありませんでした。改めて会場^{かいじょう}を選ぶとなると、舞台^{ぶたい}のある会場^{かいじょう}が良いのか、舞台^{ぶたい}のないフラットな会場^{かいじょう}が良いのか、車いすのメンバーは参加^{さんか}できるのか、予算^{よさん}は？広さ^{ひろ}は？など、さまざまな課題^{かだい}がでました。最終^{さいしゅう}的には多数決^{たすうけつ}を取り、これまでも総会会場^{そうかいかいじょう}としてお借りしていたKCC会館^{けーしーしーかいかん}に決定^{けつてい}しました。結局^{けっきょく}、会場^{かいじょう}を決めるだけで3週間^{しゅうかん}かかりました。次^{つぎ}は内容^{ないよう}です。難^{むずか}しいのがお金^{かね}（決算^{けっさん}・予算^{よさん}）の話^{はなし}です。会計担当^{かいけいたんとう}のメンバーと支援者^{しえんしや}で相談^{そうだん}した結果^{けつこ}、決算^{けっさん}は1年分^{ねんぶん}のレシートを拡大コピーし、模造紙^{もぞうし}に張り出すことにしました。予算^{よさん}を立てるのも一苦勞^{ひとくろう}でした。どんどんの会員^{かいいん}であるメンバーにどう還元^{かんげん}するのが良いのか？どんどん会議^{かいぎ}では「町内会^{ちやうないかい}ではクリスマスプレゼントを子どもに配^{くば}ったりするよね」という話^{はなし}から、「どんどんサンタになって、会員^{かいいん}にプレゼントを配^{くば}ろう！」という意見^{いけん}がでました。さまざまな発案^{はつあん}を盛り込み、なんとか予算^{よさん}も立てることができました。その他^{ほか}にも、たくさんのメンバーと支援者^{しえんしや}の手^てによって、準備^{じゆんび}が進められました。

総会当日^{そうかいとうじつ}、緊張^{きんちやう}する私^{わたし}をよそに、参加メンバー^{さんか}は各々^{おのおの}のスタイルで総会^{そうかい}に参加^{さんか}されました。「♪どんどんの歌^{うた}」を歌^{うた}う時^{とき}、戸惑^{とまど}う実習生^{じっしゅうせい}の手^てを引^ひいてみんなの前^{まえ}で指揮棒^{しきぼう}を振^ふる人、突然^{とつぜん}伴奏^{ばんそう}を名乗り出^なてくれる人、去年^この振り返^ひりを楽し^{たの}しそうに話^{はな}してくれる人、どの人も生き生き^{いきいき}としていました。最後^{さいご}に、今年度^{こんねん}のどんどんの目標^{もくひやう}をみんな^{はっぴやう}で発表^{はつぱつ}しました。

- ・ ピープルファースト “ぼちぼち” がんばろう
- ・ みんなで力^{ちから}を合^あわせて “ぼちぼち” がんばろう
- ・ 東北^{とうほく}の仲間^{なかま}に会^あいに行^いこう

総会を振り返り、改めて今年度は“どんだんらしい”総会になったのではないかと、おも
思いました。ただ、「会場のエレベーターが古くて怖い」ということを理由に、総会を欠席されたメ
ンバーがいました。どんだんのメンバーみんなが気持ちよく総会に参加するにはどうすればよ
いのか、また来年度の課題として残ったのが心残りです。何はともあれ、今年度のどんだんの
活動も目白押しです。今年度もよろしく願いいたします！
(久松祥子)



新職員紹介 ～ 福井克彦さん ～

2023年4月より、出発のなかまの会で勤めさせて頂いております。

それまでは小売業界一筋で働いていましたが、母が軽い脳梗塞になり、幸い後遺症は有り
ませんが、その頃から介護の仕事に興味を持ち、以前から気になっていた障害者の支援がした
いと、考え、就職活動中にハローワークのおすすめピックアップ企業に載っていた出発のな
かまの会に出逢い、働きたいと思えました。

趣味は魚釣りで、20代の頃は、休日にパソコンを組み立てたり、ばらしたりして楽しんで
いました。

出発のなかまの会を世の中に広める為に、現場で頑張りますので、宜しくお願い致します。

(本記事はみらくるちっぴ通信8月号より引用転載しています)

子どもたちの意欲を大切に

A君(6年生)は宿題に苦戦する日が多く、特に“自主学習”に何をすればいいか頭を悩ませていました。“宿題はしたほうがいい”を思っている、基本的にまじめなA君は宿題がいくつもあると、あれもしないといけない、これもしないといけないと思ってしまうのでイライラしてしまいます。そんな時はまず、どれからするのか順番を決めて、見通しをもって進められるように一緒に整理します。A君が私に「自主学習ほんまわからん」と話し、私が「A君の気持ち、先生は知ってる？」と尋ねると、「ちゃんと話したことはない、話をするなら来てほしい」ということでした。それならば話をする機会をつくろうと、A君、A君のお母さん、担任の先生、支援の先生、私も参加してA君の話を聞くことになりました。

突然の大雨の夕方、その会は始まりました。A君は自主学習で何をすればいいかわからないこと、テストの直しがある日に漢字ドリルの宿題が重なると宿題の量が大量になり、しんどくなることなど、自分の言葉で話すことができました。担任の先生は、自主学習は自分で何を学ぶのかを決めておこなうことが大事だと思っていることを話しつつ、「自主学習として漢字を何行か書いてる子もいるよ、できなければしなくていい」と話しました。でも、A君は自分のためにもした方がいいと思っている宿題を“できなければ、しなくていい”と言われるのは違うと感じていました。そのことをA君なりに伝え、支援の先生が「自主学習をするヒントをまとめたものがあるから渡します」と言ってくれました。担任の先生は、テストの直しと漢字ドリルの宿題が重ならないように調整してくれることになりました。話が終わるとA君はホッとしたような顔をしていました。「雨やんだな」とA君。大雨がいつの間にかすっかりやんでいました。「話したいことは話せた？」と私が聞くと「うん、すっきりした。」と照れたような笑顔で答えました。

A君は決して「宿題をしなくていいから減らしてほしい」と頼んだわけではありません。そのことは先生方にも伝わったと思います。子どもが宿題をしない時、したがない時には何かその子なりの理由があるのかもしれない。疲れているのか、内容が難しいのか、子どもの話を聴くことがとても大切だと感じました。何に悩み、つまづいているのかを聴き、周囲の大人が少し配慮することで子どもたちは自分の力を発揮できるのだと感じました。子どもたちの意欲を大切にしたい、子どもの声に耳を傾け、子どもの味方でありたいと思っています。

ながさきりょこう
長崎旅行

ながさきりょこう い さきょうしょ はな き
長崎旅行に行ってきたという作業所のスタッフの話しを聞き、メンバ
ーのKさんと長崎に住んでいる元スタッフのSさんに会いに行こう！
ながさき しんおおさかえき えきべん みやげ か しんかんせん じょうしゃ
と長崎へ。新大阪駅で駅弁とお土産を買い新幹線に乗車しました。
とちゅう のりかえき いどうじかん ふん な なか ふんおく しゅつぱつ のりかえき
途中の乗換駅の移動時間が7分しか無い中、8分遅れで出発、乗換駅
から別ルートを考えていましたが、3分遅れで到着。「早足で歩けば
なんとか間に合う、行けるんちゃう〜」とKさん。がんば ある
何とか間に合う、行けるんちゃう〜」とKさん。頑張っ歩いて、ギ
リギリ間に合い無事長崎に到着。ホテルに着くと部屋からの景色が良
く、Kさんはとても嬉しそうに外を眺めていました。夕方 Sさん達が、愛犬モモちゃんと車
でホテルまで迎えに来て下さり、平和記念公園に立ち寄り、眼鏡橋の横を通り中華街へ。念願
のちゃんぽんと中華料理を堪能しKさんも大満足。ホテルへ帰るとお部屋からの夜景も最高に
きれいでした。



よくあさ じ きしょう いっしょ おんせん りゅう ぐう おおよろこ び
翌朝6時に起床し一緒に温泉へ「お風呂ええな」と、Kさんも大喜び。この日はSさんが
お勤めの「食事処 タックマツバラ」へ。お店は備前古賀に有り、周辺は庭木が有名で、どこ
を見ても綺麗に剪定されたお庭ばかりで素晴らしかったです。ラカンマキと言うとても立派な
木もあり、見入ってしまいました。お店は 11時から 14時までのランチ営業をされており、
この日は過去2番目の来店者数で72名、スタッフ分を含めると100名分！ランチはボリューム
ム・サービス満点でとても美味しく、Kさんも大満足でニコニコでした。お店の前では近隣で
取れた新鮮野菜が売られており、店内には手作り作品が販売されていたり、素晴らしいアート
作品が多数ありました。作品の中には知事賞を受賞された書や絵も多く展示されており、と
ても素晴らしかったです。お店の奥に作業スペースがあり、この日は3名の方がビーズストラ
ップ作りや、貼り絵に取り組みされていました。他に皮製品作りの工房があったり、2階では週
に1回習字教室もされています。お店横の建物の農園部では、みかん畑をされていたり、木工
部では、机や棚などの注文を受けて作っておられ、幅広く活動されていました。



さいしゅうび つゆ じ き あさ あめ かんこう あきら めいぶつ おい ことう た
最終日は梅雨時期で朝から雨。観光を諦め名物の美味しい五島うどんを食
べ帰宅しました。初めてのメンバーとの旅行で緊張続きでしたが、とても良
い経験をさせて頂きました。一緒に行きたいと言ってくれたKさん、色々
とお世話になったSさん、有難うございました。(伊藤由紀子)

スタッフ子育て日記

早いもので我が娘も小学6年。あんなに父が好きだった（と勝手に思い込んでいる…）娘も思春期を迎えているようで微妙な距離が空いてきたように思う今日この頃。

女の子は本当に成長が早く、急に大人びてくるのでこちらの方が追い付けないのが正直なところ。けれど母の存在はやはり偉大なようで信頼は別格。そして何より娘の父に対しての対応が妻そっくりに！=（イコール）父は二人にいつも怒られ冷笑される日々…。家族序列は遂に飼い猫にも抜かれたもよう。

そんな状況を父としては百も承知なはずなのにいつも地雷を踏む。いや、踏まずにはいられない。なぜなら娘は来年、中学受験に挑むからである。

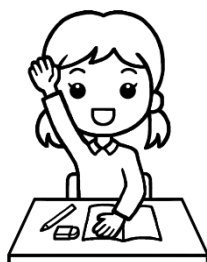
娘なりに受験勉強に取り組んでいるようだが、父からしたら本当にそんなんで大丈夫なのか、不安で、不安で、不安でしょうがない。「勉強しろー」、「自分で受験を決めたんやで…」、「受験生は今、頑張っているんやで〜」等々、余計過ぎる言葉を掛けて逆に反抗期の洗礼も受けている。

うざい父親の自覚もあるし反省もするのだが、でもやっぱり腹も立つし心底心配なのである。職場では「待つ」支援を実践しているはずなのに…。

娘としても今、思春期ならではの人間関係の複雑さもあったりしていろいろと抱えて悩んでいるようでもある。父親の単純で薄っぺらな言葉に反抗してもらえるだけでもありがたいのかもしれない。

のほほんと過ごしていた父の小学校時代に比べたらそりゃ格段に忙しく大変そうである。近いうちに受験のやる気スイッチも入り、見違えることを願って、信じて、うざくない程度に応援、見守っていけるように父も努力しようと思う。

ということで親子が互いに成長する機会はまだまだ続きそうである。むしろこれから。それこそ貴重な時間として捉え、一波乱も二波乱も起きたとしても、そんな日々を楽しんで余裕をかましていければ父の成長の証でもある。



とよだみのる
(豊田 稔)

NPO 総会を終えて



2023年5月29日(月)に東成区民センター6階小ホールにて、第24回定時総会をおこないました。当日は111名の出席(うち委任状出席者は29名)で、定款に定める総会として進めることができました。

今回も、写真をスクリーンに映して事業報告や事業計画の説明をおこないました。作業所での内職作業やお花見・ダンスコンサート、グループホームでの暮らし、知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座開講、「みらくるちっぷ」・「みらくる ゆーすと」での子どもたちの活動の様子など、2022年度の活動について報告しました。写真があると、みなさんあれこれ思い出すようで、「あんなことしたな〜!」「またやりたいね!」と、楽しみながら1年間を振り返ることができました。2023年度事業計画では、コロナウィルスへの感染に気を付けながら、それぞれの活動を活発に進めていくことを報告しました。今回は、役員選任や定款変更の承認、総会に初参加のメンバーと新入職員の紹介もあり、盛りだくさんでした。最後に少しの時間ではありましたが、メンバーによるパフォーマンスがあり、大盛り上がりのなか、総会を終えることができました。来年は、もっとたくさんの活動報告ができればいいなと思います。

当会の活動を支えてくださっている全国各地の皆様、いつも温かいご支援・ご協力、本当にありがとうございます。2023年度は、みんなが楽しみにしている旅行やイベントの再開を含め、おもしろい活動をして、たくさんの人と繋がっていきたいと思います。また、出発通信にてご報告させていただきます。

2023年度も認定NPO法人として、社会が抱えるさまざまな問題に積極的に関わり、より地域の方々と連携して、活動を進めていきたいです。

いちかわ
(市川よしみ)

助成金報告

どんどの備品購入および活動費として、公益信託区制50周年記念生野ふれ愛基金より

9万円を助成していただきました。ありがとうございました。

活動のあと

- | | |
|---|--|
| 5/2 ヘルパー募集(四天王寺大学) | 7/5 講演(京都芸術大学)
IKUNO サラダボウル・プロジェクトミーティング(松野農園) |
| 5/10 防災委員会/生野区学童期子ども支援連絡会役員会
生野区グループホーム連絡会世話人会 | 7/6 生野区相談支援事業所連絡会役員会 |
| 5/11 虐待防止委員会(内部委員会)
生野区相談支援事業所連絡会役員会 | 7/7 グループホームスタッフ全体会議 |
| 5/12 モンゴルより視察団来訪 | 7/12 執行委員会/生野区学童期子ども支援連絡会役員会
生野区グループホーム連絡会世話人会 |
| 5/13 しきつの杜セミナー/障大連絡会 | 7/13 対府交渉総決起集会・デモ行進 |
| 5/15 出発通信発送 | 7/14 虐待防止委員会(内部委員会)
内部研修(「発達障害」の理解①) |
| 5/16 しきつの杜 ILP(自立生活プログラム)講座【自立生活応援編】Eプロジェクト会議(どんどん) | 7/16 みらくるクラブ【キャンプ準備登山】(金剛山) |
| 5/17 生野区学童期子ども支援連絡会 | 7/18 どんどん講演(奈良教育大学) |
| 5/18 研修委員会/防災委員会 | 7/19 生野区学童期子ども支援連絡会 |
| 5/19 執行委員会 | 7/20 障大連グループホーム世話人研修会 |
| 5/20 みらくる ゆーすと進路勉強会
子育てなんでも相談会(生野子育て社会化研究会) | 7/21 障大連運営委員会 |
| 5/21 みらくるクラブ【木登り】(住之江公園)/しきつの ILP(自立生活プログラム)講座【自立生活応援編③】 | 7/22 内部研修(発達障害勉強会) |
| 5/23 理事会 | 7/23 IKUNO サラダボウル・プロジェクト食交流会(松野農園) |
| 5/24 生野区 NPO 連絡会役員会 | 7/24 障大連事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議 |
| 5/26 ビロン/研修委員会/地域共生ケア生野推進委員会
障大連運営委員会 | 7/25 内部研修(「発達障害」の理解②) |
| 5/27 内部研修(発達障害勉強会) | 7/26 生野ふれ愛基金授与式/生野区 NPO 連絡会役員会
一般社団法人 都市農地活用支援センター来訪(松野農園)
都市農地に関する情報交換会(松野農園) |
| 5/28 内部研修(職員グッドスタート会議) | 7/27 いくのぶれーばーく(いくのパーク) |
| 5/29 NPO 法人出発のなかまの会総会/二者会議 | 7/28 執行委員会/ビロン/地域共生ケア生野推進委員会
障大連運営委員会 |
| 5/30 実習オリエンテーション(四天王寺大学・東大阪大学) | 7/29 ピープルファースト大阪大会打ち合わせ
生野区 NPO 連絡会総会・研修会 |
| 5/31 執行委員会 | 8/1~9/24 インターンシップ受入開始(大阪経済大学) |
| 6/1 どんどん講演(関西大学堺キャンパス)
生野区相談支援事業所連絡会役員会 | 8/2 ヘルパー交流会
障大連事業所ネットワーク全体会議第 1 グループ会議勉強会 |
| 6/2 グループホームスタッフ全体会議 | 8/3 生野区相談支援事業所連絡会役員会 |
| 6/5 生野未来学園 サツマイモ植え付け(松野農園) | 8/4 グループホームスタッフ全体会議 |
| 6/5~19 実習生受入(東大阪大学) | 8/5 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座①
内部研修(発達障害勉強会) |
| 6/5~7/8 実習生受入(四天王寺大学) | 8/6 玉造黒門越瓜“ツルつなぎ”収穫祭・フォーラム・リレートーク(松野農園) |
| 6/6 どんどん総会 | 8/7~9/24 実習生受入(桃山学院大学) |
| 6/8 内部研修(食中毒予防研修①) | 8/16 作業所夏まつり |
| 6/9 執行委員会/虐待防止委員会(内部委員会)
内部研修(食中毒予防研修②) | 8/1 どんどん交渉勉強会
兵庫県立大学大学院講師来訪(松野農園) |
| 6/10 内部研修(発達障害勉強会) | 8/18 執行委員会/生野区グループホーム連絡会(防災研修) |
| 6/13 内部研修(食中毒予防研修③) | 8/19 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座②
生野子育て社会化研究会公開研修 |
| 6/14 どんどん講演(光陽支援学校)
生野区グループホーム連絡会(AED 研修)
生野区学童期子ども支援連絡会役員会 | 8/20 みらくるクラブ【キャンプ準備会】(BOMBA) |
| 6/15 不登校・ひきこもり支援連絡会
生野子育て社会化研究会 | 8/23 執行委員会/虐待防止委員会(内部委員会)
生野区 NPO 連絡会役員会 |
| 6/17 内部研修(食中毒予防研修④)/みらくる学習会
子育てなんでも相談会(生野子育て社会化研究会) | 8/25 ビロン/地域共生ケア生野推進委員会役員会
障大連運営委員会 |
| 6/21 生野区学童期子ども支援連絡会 | 8/26 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座③
みらくる ゆーすと勉強会(性と恋愛)
内部研修(トラウマインフォームドケア) |
| 6/23 食育活動(松野農園)/障大連運営委員会
地域共生ケア生野推進委員会役員会 | 8/29、30 対府交渉 |
| 6/24 みらくる ゆーすと勉強会(子ども哲学) | |
| 6/27 ちいろば・どんどん・LINK UP JAJA 交流会 | |
| 6/28 生野区 NPO 連絡会役員会 | |
| 6/30 執行委員会/防災委員会/ビロン | |

編集後記

ねんねん あつ
年々、暑くなっていますが皆さんおかわりないでし
ようか？大阪には珍しく台風が直撃しました。前回
ちやくげき こと おち
直撃したような事になるかと思ってひやひやしてい
ましたが、何の被害もなくおわりました。夏も終わ
り涼しくなるので元気にいきたいと思います。

(河合次郎)

編集人

特定非営利活動法人 出発のなかまの会
〒544-0011
大阪市生野区田島 1-10-30
たびだち共働作業所内
TEL 06-6758-6641
FAX 06-6758-6749
郵便振替 00910-9-306080
(特定非営利活動法人 出発のなかまの会)
ホームページ <https://www.tabidati.jp/> 750 部

一九八四年八月二十日

第三種郵便物承認

発行人 関西障害者定期刊行物協会

毎月(1・2・3・4・5・6の日)発行

大阪市天王寺区真田山町二・二

東興ビル4階

頒価百円